

【現状課題認識】

- 農業所得の減少
- 農山村の過疎化や高齢化
- 耕作放棄地の増加
- 農業者の高齢化・担い手不足・後継者不足
- 米消費の減少
- 農地の減少
- 生産基盤の老朽化
- 野生鳥獣による農作物被害

【必要とされる対応】

- 多角的な産業として展開
- 競争力のある農作物への転換
- 収益性の高い農業の推進
- 農業園芸センターの機能強化
- 生産基盤の整備・強化等
- 意欲ある農業者への農地の集積
- 農業を担う幅広い人材の育成
- 6次産業化などに積極的に取り組む農業者への支援
- 農地の多面的機能の充実

【市長公約】

- H26までに全ての被災農地での営農を再開。東部地域を仙台における農業のこれからに向けての拠点と位置づけ、農業園芸センターを民活により再活用するなど、「農と食のフロンティアづくり」を進めます。
- 公共施設の維持管理の適正化、マネジメントプランを策

【経済局の方針】

『仙台経済成長デザイン』
仙台経済の新たな成長に向けた4つの数値目標

- 1 平成29年までに「新規開業率日本一」
- 2 平成29年までに「年間観光客入込数2,300万人」
- 3 平成25年から平成29年までに「累積新規雇用10万人」
- 4 平成29年までに「年間農業販売額100億円」

【攻めの農林水産業の3つの戦略からの対応】

- 需要のフロンティアの拡大 ⇒ 日本の食の海外展開
- 生産から消費までのバリューチェーンの構築 ⇒ 6次産業化、医食農連携など多様な業種との連携
- 生産現場(担い手、農地等)の強化 ⇒ 担い手への農地集積・集約化、

【震災期間内の重点的に目指すべき方向性】

- 1 農業所得の向上を支援します。
- 2 生産基盤の確保と農地の有効利用を支援します。
- 3 多様な担い手の育成を支援します。
- 4 多面的機能の維持を支援します。

さらなるステップアップ・経営展開へ

【目指すべき農業の姿】(キーワードの例示)

- * 豊かさ * 安定
- * 喜び * 生きがい
- * 地域コミュニケーション

などが感じられる農業をめざして

【平成26年度農林部の主な事業】 ◎新規事業、○重点事業、・主要事業

- 1 **農業の高付加価値化推進 461,970千円**
 - 民間活力の導入により「農と食のフロンティア」の支援拠点として再整備する農業園芸センターの改修 304,037千円
 - 農業者と商工業者の連携や、それぞれのもつ資源等の有効活用による高付加価値商品等の開発支援 4,170千円
 - 6次産業化に取り組む農業者の人材育成の支援や新たに必要な機械導入、商品開発に係るマーケティング調査等の経費を補助 6,500千円
 - 農業者と大学・企業等のシーズを結びつけ、プランニング・コーディネート等、事業化までのサポートを実施 12,000千円
 - ◎市及び各支援機関、農業者、企業等でネットワークを構築し、地域として農業収益力の強化を目指す取り組みを支援 345千円
- 2 **農業生産基盤の整備推進 249,666千円**
 - 農業用水の効率的かつ安定的な利用や農作業の効率化及び生活環境の改善を図るため、幹線水路や用排水路等の農業生産基盤の整備、適正な維持管理 91,620千円
 - ◎農業用水路等の安全対策のため、津波により流出した防護柵(フェンス等)を再設置 17,000千円
- 3 **農業担い手の経営安定化 643,366千円**
 - 集落・地域での話し合いで、地域の中心経営体を定めた仙台市地域農業基盤強化プラン(経営再開マスタープラン)を作成し、農地集積等の取り組みを推進・支援 105,400千円
 - 農業者の育成・確保や新規参入を図るため、新たに独立・自営就農する45歳未満の農業者等への給付 58,500千円
 - ◎地域農業基盤強化プランの中心経営体に位置づけられた農業者等に対し、農業用機械等の導入経費の助成 12,000千円
 - ◎農業者等の自力施工等による農地区画の拡大(けい畔除去、均平作業等)や暗渠排水等の簡易な農地整備経費を助成 26,000千円
- 4 **農林業の多面的機能維持 164,164千円**
 - ・農業生産条件が不利な中山間地域において、集落等主体で自立的、継続的な農業生産活動等の体制整備を支援 16,070千円
 - ・水源涵養、山地災害防止、自然生態系の保護、緑地景観の保全、木材等生産機能等、森林の公益的機能の維持・保全 34,544千円
- 5 **東部地域の農業復興 990,946千円**
 - 営農再開に必要な農業用機械・施設等を市が一体的に購入・整備し、集落営農組織に貸与 360,885千円
 - 営農再開に向けた農業生産関連施設の復旧、農業機械の導入、生産資材の購入等について、営農組織等に助成 552,750千円
 - 復旧農地での確実な作付と担い手農業者等への農地の集積を図るための農地の貸し手、借り手双方への助成 11,600千円
- 6 **西部中山間地域の活性化 239,950千円(再掲)**
 - ◎宮城地区における低コスト耐候性ハウス(野菜水耕栽培鉄骨ハウス)の導入経費の助成[雇用創出] 115,000千円
 - イノシシ等による農作物被害の軽減を図るため、地域ぐるみでの防護柵の設置経費等の助成や捕獲実施隊の設置 79,935千円